

## 2024年2月 千葉公園「自然観察会のお知らせ」

日時：2024年2月10日（土）10時00分～12時00分（120分）

会場：千葉公園 千葉市中央区弁天 3-1

集合：蓮華亭テラス：10:00 受付：9:45 から

内容：植物・昆虫・野鳥の観察会

①ナンテンの実（めぎ科）「難を転ずる」縁起の良い木 ④

赤い実がついてもすぐに鳥にたべられてしまいます

②ヒイラギ（もくせい科）

木編に冬と書いて「柗＝ひいらぎ」です。葉を風車のようにして遊びます

③コウヨウザンの実（すぎ科）

大きな丸い実が枯れた葉っぱと一緒に落ちています。気孔線の形は？

④エリカ（つつじ科）

機関車とプールの間にある花壇で咲くエリカが見頃ですよ

⑤オオイヌノフグリ（おおばこ科） 以前はごまのはぐざ科

オオイヌノフグリの4枚の青い花が咲いている茎の葉は対生・互生のどちら？

⑥カワセミ「時々、綿打池にやってきます」

コバルトブルーの羽根が特徴のカワセミが杭の上で魚をねらっていますよ

持ち物：自然観察ができる服装と靴・タオル・飲み物・おやつ・図鑑（植物・昆虫・野鳥など）

防寒具・ルーペ・双眼鏡・敷物・帽子・雨具・筆記具・虫眼鏡・採集袋・水筒など

お話し：亀井 尊（日本自然保護協会・自然観察指導員）

安全対策：1. ゆっくり千葉公園内を歩いて自然に親しみます。

2. 寒暖差の対策と水分補給、マスク着用を！

3. 植物採集、昆虫採集はできません。

4. 植物のトゲや毒をもつ昆虫には注意しましょう。

時間配分

10:00～10:10 蓮華亭にて挨拶・資料配布・今月の自然解説

【ヤブツバキの花】

10:15～11:50 綿打池を時計回りで移動し展望台、市民プール近くまで行きます。

①2月に咲く花や実の観察

②「節分」「立春」のお話し

③綿打池の水鳥の観察

④工作「牛乳パックで大変身」

11:50～12:00 今日の観察会を振り返って。 来月の予定 3月9日（土）10:00～12:00

《観察のポイント》

- ナンテンの木は「難を転ずる」ということで、庭木に植えられます。この時期は赤い実をつけ、野鳥の良い食料になるので、ほとんど食べられた状態です。オタフクナンテンも人気です。
- 常緑の葉は厚く、トゲがあり、垣根などとして植えると防犯の役割をします。節分には玄関先に葉とイワシを一緒に備え悪霊を払います。トゲを指で挟んで息を吹きかけて遊びます。
- トゲのある複葉は光沢があり頑強な針葉樹にみえます。それは5年間ぐらい緑色を保ち、枯れても落葉しないからです。果実はらせん状に配列し平均40枚の果鱗からなっていますよ。
- エリカの花はいろいろな種類があります。小さな花は色とりどりで目に優しく入ってきます。エミリー・ブロンテ作「嵐が丘」ではイギリスの草原を代表する「ヒース」として登場します。
- オオイヌノフグリという意味はとってもやっかいです。でも春の日差しを浴びて咲くコバルトブルーの4枚の花はとても魅力的です。花をつける茎の苞葉は互生で、それ以外は対生です。
- バードウォッチャーにとってカワセミを観察することは特別のようです。高性能のカメラと三脚をもって野鳥の出現を今日もねらって公園内を歩いています。写真を見せてもらいましょう。

主催：NPO 法人 ちばサイエンスの会 連絡先 080(3503)6059（亀井）

## 千葉公園の自然（花・草・鳥・昆虫など）に親しむ

今年の冬も寒暖を繰り返して、春に向かって少しずつ動いていきます。千葉市は例年2月の上旬が一番厳しい寒さとなりますが、北日本や日本海側の寒さに比べれば暖かい地域であることは間違いありません。地球温暖化の影響もあって、ますますその傾向は顕著になりつつあります。

今月はこの寒さの中を植物（草）はどのように冬越しをしているのかを観察してみます。大地には冬越し用の葉が地面に張り付くように中心から放射状に出ています。バラの花形といわれる装飾紋様を西洋ではロゼッタと呼んだのが始まりです。今では冬越しする野草の葉の姿もそう呼んでいるのです。植物は冬の間でも太陽の陽ざしをしっかりと受け止めて光合成をおこない、養分を蓄えて、草の中心部から若い葉を放射状に徐々に伸ばしていきます。1月7日は「七草がゆ」の日でした。大地から生命溢れる若葉を七種類採集して食べると、その年は病気をしないという言い伝えがあります。今年の我が家の七つの食材は、冷蔵庫にあったズナ・スズシロ・ゴボウ・ハクサイ・ニンジン・キャベツ・ホウレンソウでした。「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」の七種類とはずいぶん違っていました。家族で美味しく頂きました。《千葉公園内で見られたロゼット型の植物》



【ハルジオン】 【ウラジロチチヨグサ】 【オミノゲシ】 【ヘラオオバコ】

### 1. ナンテン（めぎ科）

雪が降ったときには、うさぎの形を雪で作って、目に赤い実を、耳には葉をつけて玄関前に置きます。道行く人にひと時の季節感と潤いを与えることとなります。「難を転ずる」という意味で、鬼門の北東にナンテンが植栽されます。最近はおたつくナンテンという矮性のナンテンが縁石沿いに植えられています。この季節には赤い色をしています。ナンテンの葉脈も素敵ですね！



2. ヒイラギ（もくせい科） \*ヒイラギの葉遊び：葉を指で挟んで息を吹きかけ回します。ヒイラギの葉を見ると文化祭で作った「ヒイラギの葉脈づくり」を思い出します。来場者にヒイラギの葉をプレゼントしました。いつか重曹を使って、ヒイラギやナンテンの葉の葉脈づくりに挑戦しましょう。小学校では「スケルトンリーフ作り」と呼んでいるようです。

＜材料＞ 硬い葉：ヒイラギ・ナンテン・アベリア・クチナシ・サザンカなど

道具：鍋・重曹・水・ビニール手袋・割りばし・色画用紙・パウチ・リボンなど

＜ヒイラギの葉を使って葉脈の葉づくり＞



【水 500 mlに重曹 50g、鍋の中に葉っぱを入れ煮詰め、ブラシで葉緑素を剥ぐ】 【葉の完成】

3. コウヨウザン (すぎ科) 漢字で「広葉杉」と書きます

聞きなれない植物の名前ですね。すぎ科の常緑針葉樹林で、千葉公園内には市営プールの傍で見られます。足元に大きな枯れた実と葉が一緒になって落ちて転がっているので直ぐにわかります。落ちてるところから樹木を眺めてみると、枝にも枯れた葉と実がいつまでもくっついていることがあります。緑のトゲのある葉を採集して調べてみましょう。トゲの状態は肌にどの程度の痛みを与えるのか。葉についている気孔線はどのようになっているのか調べてみましょう。コウヨウザンの材は電柱、家具、農具、船、橋などに利用され、長崎市では興福寺にある唐人屋敷の門に使用されています。



4. エリカ (つつじ科)

【白い気孔線】

厳冬期にも鮮やかに咲いている花が機関車の傍の花壇で見られます。エリカです。エリカの仲間には多くの種類があり、花の形はベル型・筒型などさまざまに花の色も豊富です。関東以南の暖かい地域ではジャノメエリカをはじめとした南アフリカ原産種とその改良交配種がほとんどです。英名はヒース、草原を代表する花です。



【クリスマスパレード】



【ジャノメエリカ】



【スズランエリカ】

5. オオイヌノフグリ (ごまのはぐさ科 → おおぼこ科)

ヨーロッパから渡来した2年生の植物です。名前の由来は大きな犬の睾丸にタネが似ているというので命名されました。ちょっと可愛そうなので、「ルリカラクサ」と名前を変更しようと試みましたが普及しませんでした。花が終わったタネが犬の睾丸に似ているか調べてみましょうね。

花の構造は花びら4枚(左右は対称となっていますが、上下は大きさが違います)、オシベは2つ、メシベは1つです。花に触れると花冠がポロっと落ちてしまうので花束にはできないのが残念ですが、花にはハナアブやハナバチがみられ、受粉を助ける虫媒花です。葉の付き方を観察して見ましょう。

年末までは葉が2枚相對して着いていますが、年が明けて花蕾がつくように【花と実(睾丸)】になると互生に変わっていきます。つまり、茎の基部の葉は対生で、花をつける茎の葉は互生となっています。これは、ごまのはぐさ科やききょう科の特徴でもあります。



6. カワセミ「かわせみ科」 貴重な水鳥です!

1月の午後、曇り空で、気温も上がらず、人気が少ない状況の中、コンクリートの上にコバルトブルーの背に、オレンジ色の濃い雄のカワセミが止まっていました。

頭を動かさず動作がとってもユニークで、驚かせないようにゆっくりと近づき、カメラを向けて撮影しました。

以前は、カワセミは毎日見ることができましたが、徐々に公園の環境が変わりつつあるので、近年はあまり見る機会がなくなりました。今、綿打池の渡り鳥はキンクロハジロやユリカモメなどですが、以前はホシハジロも飛来していました。

水鳥の撮影をしていた人から聞くと、綿打池の水鳥がずいぶん減ってきたといいます。水面にはビニール袋や水の濁りが気になっているとも。マガモやカルガモが市営プールで見たとも。



【宝石のようなカワセミです】

## 《2月》 千葉公園の自然風景（花・草・鳥・昆虫など）

【①】 ナンテンのの実



①ナンテンの葉の先端は三つ葉です。赤い実はいつの間にか鳥に食べられてしまいます。

【②】 ヒイラギの葉



②ヒイラギの葉はトゲが出ていて痛そうです。葉緑体を取り除くと葉脈が見事に見えます。

【③】 コウヨウザン



③漢字で「広葉杉」と書いて、コウヨウザンと読むすぎ科の植物。大きな実が目立つ

【④】 エリカ



④小さな花がまとまって鮮やかに咲きます。エリカの花は英名ヒース、つつじ科です。

【⑤】 オオイヌノフグリ



⑤花言葉は「信頼」「忠実」「清らか」。小さな青い瞳が覗いているようで別名「星の瞳」

【⑥】 カワセミ



⑥コバルトブルーの背中にオレンジの胸の色 綿打池では時々杭の上などで見られます。